



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベネッセホールディングス

コード番号 9783 URL <https://www.benesse-hd.co.jp/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安達 保

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 増本 勝彦 (TEL) 042-357-3656

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	224,727	4.6	14,647	68.8	12,956	89.2	8,378	176.7
2019年3月期第2四半期	214,766	△3.1	8,675	△25.5	6,846	△32.7	3,028	△51.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 8,174百万円(105.1%) 2019年3月期第2四半期 3,985百万円(△26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	86.97	86.97
2019年3月期第2四半期	31.44	31.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	486,655	180,653	35.9
2019年3月期	504,682	175,099	33.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 174,802百万円 2019年3月期 169,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	459,000	4.5	20,000	23.1	16,000	31.7	9,500	93.8	98.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期2Q	102,513,199株	2019年3月期	102,483,603株
2020年3月期2Q	6,157,658株	2019年3月期	6,156,644株
2020年3月期2Q	96,336,113株	2019年3月期2Q	96,314,061株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2019年11月5日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	P. 12
(連結損益計算書関係)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般に関する分析

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、前年同期比増収増益となりました。

売上高は、2,247億2千7百万円と、前年同期比4.6%の増収となりました。

増収の主な要因は、ベルリッツ事業において減収となったものの、国内教育事業において、「進研ゼミ」の価格改定等による増収に加え、2019年1月8日付で連結子会社としたClassi(クラッシー)㈱、㈱EDUCOM(エデュコム)の売上高を当期は第1四半期連結会計期間の期首から計上したこと等による増収があったこと、及び介護・保育事業において、高齢者向けホーム及び住宅数を拡大し入居者数が増加したこと等による増収があったこと、並びにグローバルこどもちゃれんじ事業において、主に中国と国内の「こどもちゃれんじ」の価格改定等による増収があったことです。

営業利益は、国内教育事業、及び介護・保育事業における増収による増益等により、146億4千7百万円と、前年同期比68.8%の増益となりました。

経常利益は、129億5千6百万円と、前年同期比89.2%の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、83億7千8百万円と、前年同期比176.7%の増益となりました。

②セグメントの業績の状況

[国内教育事業]

国内教育事業の売上高は、1,014億6千1百万円と、前年同期比8.1%の増収となりました。

増収の主な要因は、「進研ゼミ」で価格改定等による増収があったこと、及び2019年1月8日付で連結子会社としたClassi㈱、㈱EDUCOMの売上高を当期は第1四半期連結会計期間の期首から計上したことです。

営業利益は、増収による増益等により、91億1千8百万円と、前年同期比95.7%の増益となりました。

[グローバルこどもちゃれんじ事業]

グローバルこどもちゃれんじ事業の売上高は、279億1千5百万円と、前年同期比2.7%の増収となりました。

増収の主な要因は、台湾で延べ在籍数減少による減収があったものの、中国と国内の「こどもちゃれんじ」で価格改定等による増収があったことです。

営業利益は、増収による増益があったものの、中国における販売コスト増、及び国内事業において販売費の投下時期を早めたこと等により、29億1千9百万円と、前年同期比1.4%の減益となりました。

[介護・保育事業]

介護・保育事業の売上高は、608億1千8百万円と、前年同期比5.6%の増収となりました。

増収の主な要因は、高齢者向けホーム及び住宅数を前年同期比9ホーム拡大し、入居者数が順調に増加したことです。

営業利益は、増収による増益等により、57億1千6百万円と、前年同期比9.4%の増益となりました。

[ベルリッツ事業]

ベルリッツ事業の売上高は、235億2千4百万円と、前年同期比5.3%の減収となりました。

減収の主な要因は、為替換算時のマイナス影響に加え、中国からの留学生の減少とオーストラリアでの事業売却等によるELS事業（留学支援事業）の減収、及び北欧の語学教育事業のフランチャイズ化による減収があったことです。

利益面は、減収による減益があったものの、コスト削減により損失が縮小し、20億4千9百万円の営業損失（前年同期は24億1千3百万円の営業損失）となりました。

[その他]

その他の売上高は、213億1千3百万円と、前年同期比3.3%の減収となりました。

減収の主な要因は、通信販売事業の販売を抑制したことです。

営業利益は、減収による減益があったものの、通信販売事業及び出版事業のコスト削減等により、4億3千9百万円（前年同期は2億5千9百万円の営業損失）となりました。

- (注) 1. 上記「②セグメントの業績の状況」に記載している売上高は、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含んだ金額を記載しております。
2. 消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）に係る会計処理は、税抜方式によっているため、「経営成績に関する説明」に記載した金額には消費税等は含まれておりません。

(販売実績)

セグメントの名称	販売高(百万円)		前年同期比 (%)	前連結会計年度 (4月～3月累計) (百万円)
	前第2四半期 連結累計期間 (4月～9月累計)	当第2四半期 連結累計期間 (4月～9月累計)		
国内教育事業				
高校講座事業	7,053	6,714	95.2	12,516
中学講座事業	13,418	14,285	106.5	24,760
小学講座事業	25,841	28,791	111.4	50,365
学校向け教育事業(注2)	23,924	27,466	114.8	55,014
その他(注2)	23,575	24,147	102.4	49,406
小計	93,813	101,406	108.1	192,064
グローバルこどもちゃれんじ事業				
国内こどもちゃれんじ講座事業	8,699	9,064	104.2	17,923
海外こどもちゃれんじ講座事業	13,014	13,360	102.7	27,252
その他	5,447	5,471	100.4	11,267
小計	27,161	27,897	102.7	56,443
介護・保育事業	57,557	60,795	105.6	116,999
ベルリッツ事業	24,587	23,041	93.7	49,275
その他	11,646	11,586	99.5	24,647
合計	214,766	224,727	104.6	439,431

(注) 1. 「セグメント間の内部売上高又は振替高」は含んでおりません。

2. 当第2四半期連結累計期間において、「国内教育事業」セグメントの「学校向け教育事業」と「その他」の集計方法を変更しております。この変更に伴い前連結会計年度についても修正を行っております。なお、前第2四半期連結累計期間については影響はありません。

(国内教育事業における進研ゼミ事業の概要)

進研ゼミは、小学生から高校生を対象とした通信教育講座であり、通信添削を中心として毎月継続的に行う家庭学習システムであります。各講座の延べ在籍数は次のとおりであります。

講座	延べ在籍数(千人)		前年同期比 (%)	前連結会計年度 (4月～3月累計) (千人)
	前第2四半期 連結累計期間 (4月～9月累計)	当第2四半期 連結累計期間 (4月～9月累計)		
高校講座	835	780	93.3	1,483
中学講座	2,328	2,260	97.1	4,293
小学講座	6,866	7,049	102.7	13,361
合計	10,030	10,089	100.6	19,138

(グローバルこどもちゃれんじ事業の概要)

こどもちゃれんじは、日本、中国、台湾、インドネシアにおける、主に幼児を対象とした通信教育講座であります。各講座の延べ在籍数は次のとおりであります。

講座	延べ在籍数 (千人)		前年同期比 (%)	前連結会計年度 (4月～3月累計) (千人)
	前第2四半期連結累計期間 (4月～9月累計)	当第2四半期連結累計期間 (4月～9月累計)		
国内こどもちゃれんじ講座	4,617	4,599	99.6	9,523
海外こどもちゃれんじ講座 (注1、2)	7,460	7,458	100.0	14,867
合計	12,077	12,058	99.8	24,390

(注) 1. 中国、台湾、インドネシアにおける延べ在籍数の合計であります。

2. 中国において通信教育事業等を行っている倍楽生商貿 (中国) 有限公司等2社、及びインドネシアにおいて通信教育事業等を行っているPT. Benesse Indonesiaの決算日は12月末日のため、上記の第2四半期連結累計期間の延べ在籍数は、1月から6月における延べ在籍数となっております。

(介護・保育事業における高齢者向けホーム及び住宅数)

シリーズ	高齢者向けホーム及び住宅数 (カ所)		増減数 (カ所)	前連結会計年度 (3月末日) (カ所)
	前第2四半期連結会計期間 (9月末日)	当第2四半期連結会計期間 (9月末日)		
アリア	23	24	1	24
くらら	41	40	△1	40
グラニー&グランダ	135	143	8	140
まどか	57	57	—	57
ボンセジュール	45	46	1	45
こちち	14	14	—	14
リレ	2	2	—	2
合計	317	326	9	322

(ベルリッツ事業における語学レッスン数)

地域	語学レッスン数 (千レッスン)		前年同期比 (%)	前連結会計年度 (1月～12月累計) (千レッスン)
	前第2四半期連結累計期間 (1月～6月累計)	当第2四半期連結累計期間 (1月～6月累計)		
アメリカズ(米州)	659	557	84.5	1,309
ヨーロッパ	1,474	1,370	92.9	2,913
アジア	798	800	100.3	1,614
合計	2,932	2,728	93.0	5,837

(注) 1. 語学レッスン数は、直営センターにおける数値を示しております。

2. (参考情報)

ベルリッツ事業において語学教育事業等を行っているBerlitz (ベルリッツ) Corporationの決算日は12月末日のため、上記の第2四半期連結累計期間の語学レッスン数は、1月から6月における語学レッスン数となっております。そのため、参考情報として1月から9月におけるBerlitz Corporationの語学レッスン数を次のとおり開示いたします。(2019年1月から9月の語学レッスン数は速報値であるため、変動する可能性があります。)

地域	語学レッスン数 (千レッスン)		前年同期比 (%)
	2018年1月～9月累計	2019年1月～9月累計 (速報値)	
アメリカズ (米州)	1,008	846	83.9
ヨーロッパ	2,155	1,981	91.9
アジア	1,223	1,216	99.4
合計	4,388	4,044	92.2

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、4,866億5千5百万円と、前連結会計年度に比べ3.6%、180億2千7百万円減少しました。

流動資産は、2,458億3千2百万円と、前連結会計年度に比べ7.0%、184億7千7百万円減少しました。この減少は、主に未収入金の減少によるものです。

有形固定資産は、1,504億6千5百万円と、前連結会計年度に比べ2.1%、31億1千2百万円増加しました。この増加は、主にリース資産の増加によるものです。

無形固定資産は、371億1千4百万円と、前連結会計年度に比べ5.2%、20億5千1百万円減少しました。この減少は、主にのれん及びソフトウェアの減少によるものです。

投資その他の資産は、532億4千3百万円と、前連結会計年度に比べ1.1%、6億1千万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間の総負債は、3,060億2百万円と、前連結会計年度に比べ7.2%、235億8千万円減少しました。

流動負債は、1,404億9百万円と、前連結会計年度に比べ19.4%、338億2千6百万円減少しました。この減少は、主に前受金、未払金、支払手形及び買掛金、並びに1年内返済予定の長期借入金の減少によるものです。

固定負債は、1,655億9千3百万円と、前連結会計年度に比べ6.6%、102億4千5百万円増加しました。この増加は、主に長期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産は、1,806億5千3百万円と、前連結会計年度に比べ3.2%、55億5千3百万円増加しました。この増加は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	109,681	163,435
受取手形及び売掛金	33,247	31,436
有価証券	34,466	3,042
商品及び製品	26,228	16,885
仕掛品	2,889	3,778
原材料及び貯蔵品	1,830	1,696
その他	57,720	26,823
貸倒引当金	△1,755	△1,266
流動資産合計	264,310	245,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,019	28,906
土地	35,145	35,144
リース資産（純額）	74,124	77,405
その他（純額）	9,063	9,008
有形固定資産合計	147,352	150,465
無形固定資産		
のれん	12,703	11,607
その他	26,462	25,507
無形固定資産合計	39,166	37,114
投資その他の資産		
投資有価証券	13,072	12,827
その他	40,871	40,503
貸倒引当金	△91	△87
投資その他の資産合計	53,853	53,243
固定資産合計	240,372	240,823
資産合計	504,682	486,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,748	10,178
1年内返済予定の長期借入金	19,186	14,160
未払法人税等	3,075	2,734
前受金	91,294	76,747
添削料引当金	305	471
賞与引当金	6,582	6,152
返品調整引当金	394	308
その他	37,647	29,655
流動負債合計	174,235	140,409
固定負債		
長期借入金	19,099	24,020
リース債務	79,967	83,703
役員退職慰労引当金	67	72
退職給付に係る負債	7,765	7,739
その他	48,447	50,057
固定負債合計	155,347	165,593
負債合計	329,583	306,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,661	13,700
資本剰余金	29,554	29,593
利益剰余金	152,164	158,067
自己株式	△21,360	△21,361
株主資本合計	174,021	179,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,372	1,072
為替換算調整勘定	△5,749	△6,068
退職給付に係る調整累計額	△266	△201
その他の包括利益累計額合計	△4,643	△5,196
新株予約権	105	105
非支配株主持分	5,616	5,745
純資産合計	175,099	180,653
負債純資産合計	504,682	486,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	214,766	224,727
売上原価	125,176	128,166
売上総利益	89,590	96,560
返品調整引当金戻入額	399	394
返品調整引当金繰入額	332	308
差引売上総利益	89,658	96,645
販売費及び一般管理費		
ダイレクトメール費	7,004	6,609
広告宣伝費	6,187	5,748
給料及び手当	16,936	17,173
賞与引当金繰入額	2,317	2,443
退職給付費用	754	721
役員退職慰労引当金繰入額	5	5
貸倒引当金繰入額	237	167
その他	47,537	49,128
販売費及び一般管理費合計	80,982	81,998
営業利益	8,675	14,647
営業外収益		
受取利息	232	259
固定資産賃貸料	172	170
投資事業組合運用益	264	172
補助金収入	277	176
その他	500	519
営業外収益合計	1,449	1,299
営業外費用		
支払利息	2,319	2,662
固定資産賃貸費用	88	68
為替差損	603	—
その他	266	258
営業外費用合計	3,278	2,989
経常利益	6,846	12,956
特別利益		
国庫補助金	—	41
特別利益合計	—	41
特別損失		
固定資産圧縮損	—	33
災害損失	199	—
在外連結子会社リストラクチャリング費用	—	※1 326
特別損失合計	199	360
税金等調整前四半期純利益	6,646	12,637
法人税等	3,367	3,903
四半期純利益	3,278	8,733
非支配株主に帰属する四半期純利益	250	355
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,028	8,378

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,278	8,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	447	△305
為替換算調整勘定	189	△319
退職給付に係る調整額	68	66
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	707	△559
四半期包括利益	3,985	8,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,744	7,825
非支配株主に係る四半期包括利益	241	349

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,646	12,637
減価償却費	9,789	9,940
引当金の増減額 (△は減少)	△1,498	△1,218
その他の損益 (△は益)	2,143	2,690
売上債権の増減額 (△は増加)	△435	1,607
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,424	8,598
未収入金の増減額 (△は増加)	25,333	28,358
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,830	△5,516
未払金の増減額 (△は減少)	△9,749	△8,842
前受金の増減額 (△は減少)	△9,411	△14,380
その他の資産・負債の増減額	1,080	3,795
小計	22,491	37,670
利息及び配当金の受取額	211	234
利息の支払額	△2,319	△2,662
法人税等の支払額	△7,082	△4,112
法人税等の還付額	1,242	2,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,543	33,727
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△27,006	△1,006
有価証券の売却による収入	17,710	19,911
有形固定資産の取得による支出	△3,367	△2,022
ソフトウェアの取得による支出	△2,945	△3,938
投資有価証券の取得による支出	△332	△296
投資有価証券の売却による収入	364	330
定期預金の純増減額 (△は増加)	949	129
その他	△1,071	△1,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,699	12,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	5,000
長期借入金の返済による支出	—	△5,104
配当金の支払額	△4,575	△2,409
リース債務の返済による支出	△1,133	△1,521
その他	△317	△269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,025	△4,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83	△137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,265	41,345
現金及び現金同等物の期首残高	138,304	112,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	131,038	154,004

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」の「リース資産(純額)」が1,299百万円増加し、「流動負債」の「その他」が545百万円及び「固定負債」の「リース債務」が825百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は68百万円減少しております。

なお、本会計基準の適用により新たに計上されることとなった使用権資産は、リース資産に含めて表示しております。

(連結損益計算書関係)

※1 在外連結子会社リストラクチャリング費用

在外連結子会社Berlitz Corporationにおける事業構造の改善のためのリストラクチャリングに伴う損失であります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内教育 事業	グローバル こどもちゃ れんじ事業	介護・保育 事業	ベルリッツ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	93,813	27,161	57,557	24,587	203,120	11,646	214,766	—	214,766
セグメント間の内部売 上高又は振替高	62	7	27	257	355	10,402	10,758	△10,758	—
計	93,875	27,169	57,584	24,845	203,476	22,049	225,525	△10,758	214,766
セグメント利益 又は損失(△)	4,659	2,961	5,227	△2,413	10,434	△259	10,174	△1,498	8,675

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、雑誌の出版、通訳・翻訳事業、及び情報システムの保守・運用事業、並びに情報処理サービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,498百万円には、セグメント間取引消去402百万円、各報告セグメントには配分していない全社費用△1,901百万円が含まれております。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内教育 事業	グローバル こどもちゃ れんじ事業	介護・保育 事業	ベルリッツ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	101,406	27,897	60,795	23,041	213,140	11,586	224,727	—	224,727
セグメント間の内部売 上高又は振替高	55	17	22	483	579	9,727	10,306	△10,306	—
計	101,461	27,915	60,818	23,524	213,719	21,313	235,033	△10,306	224,727
セグメント利益 又は損失(△)	9,118	2,919	5,716	△2,049	15,704	439	16,143	△1,496	14,647

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、雑誌の出版、通訳・翻訳事業、及び情報システムの保守・運用事業、並びに情報処理サービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,496百万円には、セグメント間取引消去471百万円、各報告セグメントには配分していない全社費用△1,967百万円が含まれております。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。